

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2003-224843

(43)Date of publication of application : 08.08.2003

(51)Int.Cl.

H04N 7/173

G06F 17/60

G09F 19/00

(21)Application number : 2002-306331

(71)Applicant : MICROSOFT CORP

(22)Date of filing : 21.10.2002

(72)Inventor : BARRETT PETER T

(30)Priority

Priority number : 2001 001298

Priority date : 19.10.2001

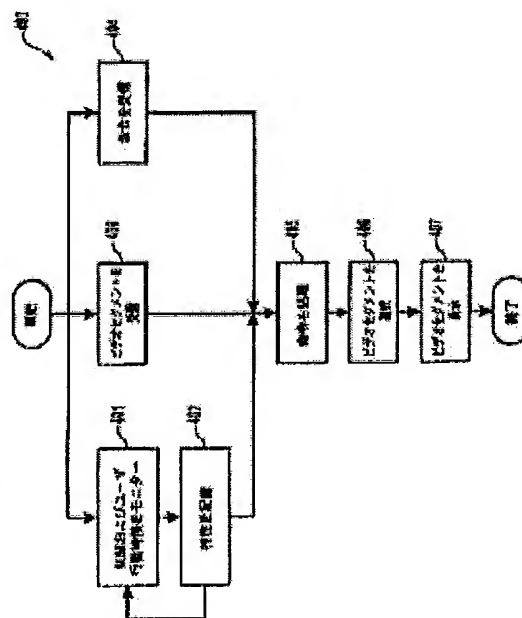
Priority country : US

(54) VIDEO SEGMENT TARGETING USING REMOTELY ISSUED INSTRUCTIONS AND LOCALIZED STATE AND BEHAVIOR INFORMATION

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide video advertisement targeting based on local information accessible to a video receiver.

SOLUTION: This local information includes local state and user behavior characteristics that are relevant to the targeting of the video advertisements. The video receiver monitors and stores state and user behavior characteristic associated with the video receiver. In addition to the core content such a television program or a Web page sought by the viewer, the video receiver receives a number of video advertisements as well as targeting instructions from the video stream. The video receiver processes these instructions to select a relevant video advertisement based on the locally stored characteristics. Then, the video receiver displays the selected video segment.



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2003-224843

(P2003-224843A)

(43) 公開日 平成15年8月8日 (2003.8.8)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	マーク* (参考)
H 0 4 N 7/173	6 4 0	H 0 4 N 7/173	6 4 0 Z 5 C 0 6 4
G 0 6 F 17/60	3 2 6	G 0 6 F 17/60	3 2 6
G 0 9 F 19/00		G 0 9 F 19/00	Z

審査請求 未請求 請求項の数27 O L (全 13 頁)

(21) 出願番号 特願2002-306331(P2002-306331)

(22) 出願日 平成14年10月21日 (2002. 10. 21)

(31) 優先権主張番号 1 0 / 0 0 1 , 2 9 8

(32) 優先日 平成13年10月19日 (2001. 10. 19)

(33) 優先権主張国 米国 (U S)

(71) 出願人 391055933

マイクロソフト コーポレーション

MICROSOFT CORPORATI
ON

アメリカ合衆国 ワシントン州 98052-

6399 レッドモンド ワン マイクロソフ

ト ウェイ (番地なし)

(74) 代理人 100077481

弁理士 谷 義一 (外2名)

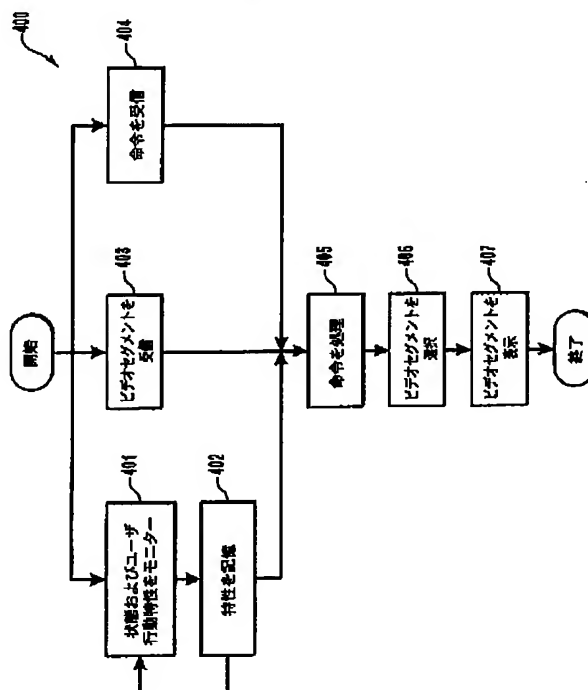
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 遠隔で発行されたターゲティング命令と、ローカル状態および行動情報とを使用するビデオセグメントのターゲティング方法

(57) 【要約】

【課題】 ビデオ受信器からアクセス可能なローカルの情報に基づいた、映像広告のターゲティング方法を提供する。

【解決手段】 このローカルの情報は、映像広告のターゲティングに関係するローカル状態およびユーザ行動特性を含む。ビデオ受信器が、そのビデオ受信器に関連する状態およびユーザ行動特性をモニターし、記憶する。視聴者の求めるテレビ番組やウェブページなどのコアコンテンツに加えて、ビデオ受信器は、ビデオストリームから多数の映像広告ならびにターゲティング命令を受信する。ビデオ受信器はこれらの命令を処理して、ローカルで記憶された特性に基づいて適切な映像広告を選択する。その後、ビデオ受信器は選択されたビデオセグメントを表示する。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 表示装置に結合され、複数のビデオセグメントを含むストリームを受信するように構成されたビデオ受信器において、前記ビデオ受信器に対するアクセス可能なローカルの情報に基づき、かつ遠隔で発行された命令に基づいて前記複数のビデオセグメントをターゲットリングする前記ビデオ受信器の方法であって、該方法は、

前記ビデオ受信器に関連する状態およびユーザ行動特性をモニターするステップと、
ローカルで前記特性を記憶するステップと、
前記ストリームから複数のビデオセグメントを受信するステップと、
前記ストリームから実行可能な命令を受信するステップであって、該実行可能な命令がプロセッサによって処理される時に、前記ローカルで記憶された前記特性に基づいて前記複数のビデオセグメントの中から 1 つのビデオセグメントを前記ビデオ受信器に選択させるように、前記実行可能な命令が構成されたステップと、
前記実行可能な命令を処理して、前記ビデオ受信器に前記ビデオセグメントを選択させるステップと、
選択された前記ビデオセグメントを前記表示装置に表示させるステップとを含むことを特徴とする方法。

【請求項 2】 前記実行可能な命令を処理して、前記ビデオ受信器に前記ビデオセグメントを選択させるステップが、前記実行可能な命令を処理して、前記ビデオ受信器に映像広告を選択させるステップを含み、
前記ビデオセグメントを前記表示装置に表示させるステップが、映像広告を前記表示装置に表示させるステップを含むことを特徴とする、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】 前記ビデオセグメントを前記表示装置に表示させるステップが、前記ビデオセグメントを前記表示装置のウィンドウ内に表示させるステップを含むことを特徴とする、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】 前記ウィンドウ外にマテリアル（資料）を表示するステップをさらに含むことを特徴とする、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】 前記ウィンドウ外にマテリアルを表示するステップが、前記ウィンドウ外にテレビ番組を表示するステップを含むことを特徴とする、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】 前記ウィンドウ外にマテリアルを表示するステップが、前記ウィンドウ外にネットワーク資源を表示するステップを含むことを特徴とする、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 7】 前記ウィンドウ外にマテリアルを表示するステップが、前記ウィンドウ外にウェブコンテンツを表示するステップを含むことを特徴とする、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 8】 前記表示装置に前記ビデオセグメントが

表示されていない時、前記表示装置に静止画を表示させるステップをさらに含むことを特徴とする、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】 前記ストリームから前記静止画を受信するステップをさらに含むことを特徴とする、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】 前記表示装置に前記ビデオセグメントが表示されていない時、前記表示装置の前記ウィンドウ内に静止画を表示させるステップが、前記表示装置に前記ビデオセグメントが表示されていない時、前記表示装置の前記ウィンドウ内にバナー広告を表示させるステップを含むことを特徴とする、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 11】 前記実行可能な命令が第 1 の実行可能な命令であり、前記方法が、
前記ビデオストリームから第 2 の実行可能な命令を受信するステップであって、該第 2 の実行可能な命令がプロセッサによって処理される時、前記ビデオ受信器に、前記ローカルで記憶された特性に基づいて複数の静止画の中から前記静止画を選択させるように前記第 2 の実行可能な命令が構成されるステップと、
前記第 2 の実行可能な命令を処理して、前記ビデオ受信器に前記静止画を選択させるステップとをさらに含むことを特徴とする、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 12】 前記複数のビデオセグメントが受信されるときそれらをキャッシュするステップをさらに含むことを特徴とする、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 13】 前記ビデオ受信器が、特定のビデオセグメントを表示しないと決定する場合に、該特定のビデオセグメントに関連したキャッシュメモリを解放するステップをさらに備えることを特徴とする、請求項 12 に記載の方法。

【請求項 14】 前記ビデオセグメントを前記表示装置に表示させるステップが、
前記ビデオ受信器から前記ビデオセグメントが受信されるにつれて該ビデオセグメントを表示させるステップであって、前記実行可能な命令が、前記ビデオセグメントの表示の開始を、前記ビデオセグメントが前記ビデオ受信器から受信される時間に合わせるトリガを含むステップとを含むことを特徴とする、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 15】 前記ビデオストリームから複数のビデオセグメントを受信するステップが、
複数のビデオストリームから前記複数のビデオセグメントを受信するステップと、
前記実行可能な命令に基づいて前記複数のビデオストリームの間で表示を切り替えるステップとを含むことを特徴とする、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 16】 前記ビデオストリームが一方向のビデオストリームであることを特徴とする、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 17】 前記ローカルで記憶された特性がチャ

ネル加入者契約の情報を含むことを特徴とする、請求項1に記載の方法。

【請求項18】 前記ローカルで記憶された特性が、同調されたチャネルの履歴情報を含むことを特徴とする、請求項1に記載の方法。

【請求項19】 前記ローカルで記憶された情報がペーパービュー購入の履歴情報を含むことを特徴とする、請求項1に記載の方法。

【請求項20】 前記ペーパービュー購入の履歴情報が最後のペーパービュー購入の識別を含むことを特徴とする、請求項19に記載の方法。

【請求項21】 前記ローカルで記憶された情報が、表示された広告の履歴情報を含むことを特徴とする、請求項1に記載の方法。

【請求項22】 前記表示された広告の履歴情報が、過去に表示された広告の少なくともいくつかを識別する識別子を含むことを特徴とする、請求項21に記載の方法。

【請求項23】 前記表示された広告の履歴情報が、対応する広告が最後に表示された時間を含むことを特徴とする、請求項22に記載の方法。

【請求項24】 前記ビデオ受信器が、前記特性を該ビデオ受信器の外に漏らすことなくローカルで記憶することを特徴とする、請求項1に記載の方法。

【請求項25】 表示装置に結合されたビデオ受信器で使用するコンピュータプログラム製品であって、該ビデオ受信器が複数のビデオセグメントを含むビデオストリームを受信するように構成され、該コンピュータプログラム製品が、該ビデオ受信器に対するアクセス可能なローカルの情報に基づき、かつ遠隔で発行された命令に基づいて複数のビデオセグメントをターゲットリングする該ビデオ受信器の方法を実施し、
前記ビデオ受信器に関連する状態およびユーザ行動特性をモニターすること、
前記特性がローカルで記憶されるようにすること、
前記ビデオストリームからの複数のビデオセグメントの受信を検出すること、
前記ビデオストリームから受信された命令を処理し、前記実行可能な命令がプロセッサによって処理される時に、前記ローカルに記憶された特性に基づいて前記複数のビデオセグメントから1つのビデオセグメントを前記ビデオ受信器に選択させるように前記命令が構成されること、および、
前記ビデオセグメントを前記表示装置に表示させることを実行するためのコンピュータ実行可能な命令を記憶したコンピュータ読み取り可能な媒体を含むことを特徴とする、コンピュータプログラム製品。

【請求項26】 前記コンピュータ読み取り可能な媒体が、1つまたは複数の物理記憶媒体であることを特徴とする、請求項25に記載のコンピュータプログラム製品。

【請求項27】 前記コンピュータ読み取り可能な媒体

が、

前記ローカルで記憶された特性に基づいて前記複数のビデオセグメントから1つのビデオセグメントを選択することを実行するためのコンピュータ実行可能な命令をさらに記憶していることを特徴とする、請求項25に記載のコンピュータプログラム製品。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、一般にビデオ処理の分野に関する。より詳しくは、本発明は、遠隔で発行されたターゲットリング命令と、ローカルで記憶された状態および行動情報とに基づくビデオセグメントのターゲットリングに関する。

【0002】

【従来の技術】関連出願の相互参照本発明は、本出願の優先権主張の原出願である米国出願と同じ日に出願され、本出願人と共通の所有者が所有する同時係属の米国特許出願(特許文献1参照)に関連する。これを参照することによりその全体が本明細書に組み込まれる。

【0003】情報化時代がより一層進むにつれて、従来にもましてより多くの個人が、より多くの情報により便利にアクセスするようになっている。情報の1つのタイプとしてビデオ情報がある。視聴者は様々なツールを使用して、興味のあるビデオ情報を選択することが可能である。このようなツールには、例えばリモコンやキーボード、その他の便利なユーザインタフェースがある。さらに、電子番組案内も、視聴者が自身に最も興味のあるビデオセグメントを選択する助けとなる。

【0004】ビデオセグメントの1つのタイプに映像広告がある。映像広告の広告主は、視聴者に、広告主が提供する製品またはサービスを購入するよう気を引くことによって収益を最大にすることを願っている。それゆえ、映像広告主は、自身の映像広告を視聴者に表示することのできる者に対して、好ましい対価を提供することにやぶさかでない。このような広告は、時として視聴者にとって煩わしく見えるかもしれないが、広告があることによって、しばしば、サービス会社が提供する、望まれるサービスの価格が引き下げられる。例えば、広告から得られる収益だけでテレビチャネルを提供するための充分な動機になるので、多くのテレビチャネルは無料となっている。他方、いくつかの有料チャネルは、広告を提供しないかわりに、視聴者に定期的に料金を課すことによってチャネルを提供するための充分な動機を達成している。

【0005】広告をターゲットリングできることは広告主にとって大きな価値がある。ターゲットリングは、製品またはサービスの購買者として最も買いそうな母集団のセグメントを特徴付けることによって起こる。市場は、性別、年齢、収入、職業、教育レベル、特別の趣味、居住場所など無数の特徴によって区分化することができる。

ターゲットとなる市場セグメントが見る可能性がより高い媒体を使用して広告を伝達することにより、広告がより効果的となる。

【0006】例えば、ソフトウェア開発会社が、16歳から25歳までの男子にとって魅力のある傾向のビデオゲームを製作すると仮定する。最も有望な購買者候補を広告のターゲットとするために、ソフトウェア開発者は、16歳から25歳までの男性視聴者が見る傾向のあるテレビチャンネルに映像広告を掲載することであろう。このようにターゲティングすることによって、広告主は、視聴者ごとに収益を得る可能性を上げることができる。さらに、視聴者は、その広告が自身に関係のあるものと気付くようになる。従って、広告主と視聴者の双方が、ターゲットに向けた広告によって利益を得ることができる。

【0007】広告をターゲットに向けるための従来の努力を行っても、依然として、そのターゲットに向けた広告にほとんど関係しない、そのターゲット市場のセグメント内の視聴者が存在する。例えば、その有料チャンネルの広告は、既に有料チャンネルと契約を結んだ視聴者にはお門違いである。また視聴者は、かねて見たものと同じ広告を見せられるかもしれない。さらに、ターゲット市場の中の視聴者であっても、その視聴者がそのターゲット市場の多くの人と同じ興味を共有しない場合もあり得る。結局は、16歳から25歳までの男性全員がビデオゲームを楽しむ訳ではない。従って、ターゲットに向けた広告を用いても、依然多くの視聴者が、広告の対象となる製品やサービスにほとんどまたは全く興味がないという場合があります。従来の基準では、この程度の広告の方向付けミスがあっても、映像広告では充分であると考えられている。

【0008】

【特許文献1】米国特許出願第 号明細書
(代理人受領証番号14531.96)

"Advertising Using a Combination of Video and Banner Advertisements" (映像広告およびバナー広告の組み合わせを使用する広告)

【0009】

【発明が解決しようとする課題】それにもかかわらず、上述した観点から、映像広告のターゲティングを向上させる方法、システム、およびコンピュータ製品が望まれている。

【0010】

【課題を解決するための手段】本発明によれば、ビデオセグメント(例えば映像広告)は、ビデオ受信器が特定の映像広告を表示するか否かを決定するための基準を設定する、遠隔で発行されるターゲティング命令を用いて個人をターゲットにする。そのビデオ受信器はターゲティング命令に従い、ビデオ受信器に対するアクセス可能なローカル情報を使用して、映像広告を表示するか否かを決定する。このローカル情報は、映像広告のターゲティ

ングに係るローカル状態およびユーザ行動特性などの情報である。このような情報には、ユーザが加入しているチャンネル、時間ベースの視聴者の視聴履歴、最後に発注したペイパービュー番組、過去に見た映像広告のリスト、ビデオ放送を最後に見た時間などが含まれ得る。

【0011】ビデオ受信器は、ビデオ受信器に関連する、状態およびユーザ行動特性とをモニターし、記憶する。テレビ番組またはウェブページなどの視聴者が望む主要なコンテンツに加えて、ビデオ受信器は多数の映像広告と共に、ビデオストリームおよび/またはデータストリームからのターゲティング命令を受信する。ターゲティング命令はスクリプト言語で提供することができる。ビデオ受信器はそのターゲティング命令を処理して、その結果により、ローカルに記憶された特性に基づいて適切な映像広告を選択する。その後、選択されたビデオセグメントが表示される。

【0012】このようにして、映像広告を特定のビデオ受信器の特定の使用者に向けることができる。さらに、希望する場合は、ローカル状態およびユーザ行動特性をビデオ受信器の外部に何ら開示する必要なく、このターゲティングを達成することができ、よってユーザのプライバシーが守られる。さらに、映像広告を表示するか否かを決定する基準は、例えば広告主または放送者自身によって遠隔で決定することができる。

【0013】例えば、有料チャンネルのプロバイダは、ローカル情報が、ユーザがまだこの有料チャンネルに加入していないことを示すという条件だけで、どのユーザにもこの有料チャンネルの広告を提示することを選択することができる。従って映像広告は、まだ有料チャンネルに加入していない個人に集中することになる。別の例として、広告主は、平日の夜の5時から8時の間にネットワーク上に接続しているかまたはテレビを見る個人をターゲットにすることを願うことがあるであろう。その広告主は、その映像広告が一番最近の週の午後5時から午後8時までの間に既に提示されていない場合だけにその映像広告を表示することを指示することがあるであろう。ユーザが過去に、同一製品の人目を引くバナー広告を申し込みする特定のウェブサイトナビゲートしたことがないことを追加の条件とすることもあろう。このようにして、広告を、個人に係る情報に基づいてその個々の人々に集中させることができる。

【0014】本発明の追加の特徴および利点を以下の記述で示しているが、それらはある程度その記述から明白であり、または本発明の実践によって確認されよう。本発明の特徴および利点は、本請求項特に指摘する装置やその組み合わせによって実現され獲得されることができる。本発明のこれらの特徴およびその他の特徴は、以下の説明および本請求項からより完全に明らかとなり、または以下に述べる通りの本発明の実践によって確認されることができる。

【0015】本発明の、上記その他の利点および特徴が獲得されるように、以上に簡潔に説明した本発明のより詳しい説明を、添付図面に示す本発明の具体的な実施例を参照して以下に掲げる。

【0016】

【発明の実施の形態】ビデオ受信器に対するアクセス可能なローカル情報に基づいて、多数のビデオセグメント(例えば広告)のターゲティングを行う、方法、システム、およびコンピュータプログラム製品の実施形態を、本発明に従って以下に説明する。このローカル情報は、映像広告のターゲティングに関係する、ローカル状態およびユーザ行動特性などの情報である。ビデオ受信器が、ビデオ受信器に関連する状態およびユーザ行動特性とをモニターし、記憶する。視聴者の求めるテレビ番組やウェブページなどのコアコンテンツに加えて、ビデオ受信器は、ビデオおよび/またはデータストリームから、多数の映像広告ならびにターゲティング命令を受信する。これらの命令は、適切な映像広告を選択するために、ローカルで記憶された特性に基づいて、ビデオ受信器によって処理される。その後選択されたビデオセグメントが表示される。このようにして、映像広告を特定のビデオ受信器の特定のユーザに指向することができる。

【0017】本発明の実施形態は、以下により詳しく論ずる通り、専用または汎用の処理装置、あるいは様々なコンピュータハードウェア構成要素を含むコンピュータを備える。こうした実施形態は、さらに、ネットワーク化した環境でリンクされた多数のコンピュータを含むことができる。従来のテレビの機能を高めるセットトップボックスは、専用コンピュータの一例を示すものである。

【0018】本発明の範囲にある実施形態はまた、記憶したコンピュータ実行可能な命令またはデータ構造を運びまたは有するためのコンピュータ読み取り可能な媒体も含む。このようなコンピュータ読み取り可能な媒体は、汎用または専用コンピュータからアクセスすることのできる任意の入手可能な媒体であることができる。限定としてではなく、例として述べると、このようなコンピュータ読み取り可能な媒体は、RAM、ROM、EEPROM、CD-ROMまたは他の光ディスク記憶装置、磁気ディスク記憶装置または他の磁気記憶装置、あるいは、コンピュータ実行可能な命令またはデータ構造の形の望ましいプログラムコード手段を担持し、または記憶するために使用することができ、汎用または専用コンピュータからアクセスすることのできる、他の任意の媒体などの物理記憶媒体を備えることができる。

【0019】情報が、ネットワークまたは別の通信接続(配線、無線、または配線と無線の組み合わせ)を介してコンピュータに転送され、または供給されると、コンピュータはその接続を適正にコンピュータ読み取り可能な媒体として見なす。従って、このような接続も適正にコ

ンピュータ読み取り可能な媒体と呼ばれる。上記を組み合わせたものもコンピュータ読み取り可能な媒体の範囲に入る。コンピュータ実行可能な命令は、例えば汎用コンピュータ、専用コンピュータ、または専用処理装置に、ある機能またはいくつかの機能を実行させる命令およびデータを含む。

【0020】本発明を、プログラムモジュールなどのコンピュータ実行可能な命令がセットトップボックスまたは他のコンピュータによって実行される一般的な前後関係に即して記述する。一般に、プログラムモジュールは、特定のタスクを実行し、または特定の抽象データ型を実施するルーチン、プログラム、オブジェクト、構成要素、データ構造などを含む。特定のデータ構造またはプログラムモジュールで実施されるこれらの一連の命令は、本明細書で記述する機能またはステップを実施するそれらに対応するアクト(動作)の例を示している。

【0021】この記述を以下の通り進める。図1およびそれに関する記述は、本発明の原理を実施するために使用することのできる例示的ホームエンタテインメントシステム(家庭娯楽システム)を説明するものである。図2およびそれに関する記述は、次いで、そのホームエンタテインメントシステムに関連するビデオ受信器に情報が伝送される適切なシステムを説明するものである。その後、本発明の詳しい動作を図3から図5を参照して説明する。

【0022】図1および対応する議論は、本発明を実施することのできる適切な環境についての一般的な説明を提供するためのものである。説明では、表示可能なコンテンツを受信し、処理するために使用することのできるビデオ受信器を参照する。この説明および請求項では、「ビデオ受信器」は、ビデオ情報を処理することのできる任意の構成要素、または複数の構成要素を組み合わせたものであることができる。例えば、ビデオ受信器は、処理機能およびメモリ機能を有するセットトップボックスであることができる。ビデオ受信器はまた、コンピュータシステム、デジタル電話などであることもできる。

【0023】一実施形態では、本発明は、従来型テレビスクリーンまたは他の表示ユニットを使用して情報を表示し、ウェブTV(登録商標)セットトップボックス、あるいは電子メールの作成、送信、受信と、ワールドワイドウェブ(「ウェブ」)のブラウジングと、インターネットの他のセグメントへのアクセスと、別のやり方での情報の表示とを含む動作を実行するように適合された同様のインターネット端末を含むシステムで実施される。インターネット端末は、インターネットまたは他の広域ネットワークに接続した標準的な電話ライン、サービス総合デジタルネットワーク(ISDN)、ケーブルテレビサービスに関連するケーブルラインなどを使用することができる。

【0024】図1はビデオ受信器112、表示装置114、お

10

20

30

40

50

およびオーディオシステム116を含むホームエンタテインメントシステム110を示す。ビデオ受信器112は、本明細書に開示した動作を実行するように適合されたセットトップボックスまたはインターネット端末であることができる。表示装置114は、高解像度テレビ表示器、標準型テレビ表示器、フラットパネル表示器、プロジェクタ、コンピュータモニタ、または見る価値のあるデータを表示することができる他の任意の装置であることができる。オーディオシステム116は、スピーカ、ステレオシステム、またはサウンドデータを出力することのできる任意の装置であることができる。

【0025】ビデオ受信器112は、信号源120からプログラムを受信する信号入力部118を含む。このプログラムは信号源120からプログラム入力ライン122を経て信号入力部118に伝送されるが、入力ライン122は、ケーブル接続または光接続、地上アンテナシステム、衛星システム、あるいはプログラムをホームエンタテインメントシステム110に伝送することのできる任意の装置またはシステムであることができる。

【0026】ビデオ受信器112はまた、リモコン、外部の専用または汎用処理装置、外部の専用または汎用コンピュータ、キーボード、マイク、マウス、またはビデオ受信器112への電子命令を生成することのできる他の任意の装置などの入力装置126から入力を受信するユーザ入力インタフェース124も含む。入力装置126は、このような制御を可能にするように入力リンク128を介してビデオ受信器112に通信可能に結合される。入力装置126は、予めプログラムされたデータにตอบสนองして、または入力装置126上の視聴者用押しボタンにตอบสนองして入力リンク128を介して電子命令を生成する。入力装置126は、ビデオ受信器112が、セットトップボックスまたは本明細書に開示された動作を実行するように適合されたインターネット端末である時、ビデオ受信器112内のウェブブラウザソフトウェアも制御することができる。例えば、入力装置126を、ホームエンタテインメントシステム110をオンにし、ビデオ受信器112をチャンネルに同調するようにプログラムすることができる。

【0027】図1は信号記録装置130を示すが、これはビデオおよび/またはオーディオデータを受信し、そのデータを記憶媒体に記録することができる。ビデオ信号は、ビデオ画像リンク132aおよび132bによってそれぞれ表示装置114および/または信号記録装置130に伝送されるが、その例としては、ラジオ周波数(「RF」)リンク、S-ビデオリンク、複合リンク、他の任意の同等形式のビデオ画像リンクがある。同様に、オーディオリンク134aおよび134bは、オーディオデータをビデオ受信器112からそれぞれオーディオシステム116および/または信号記録装置130に伝送する。

【0028】ビデオ受信器112の動作は、処理ユニット136として図示する中央処理ユニット(「CPU」)によって

制御されるが、このユニットはシステムバス140を介して特定用途向け集積回路(「ASIC」)138に結合され、ソフトウェアおよび/または配線ロジック回路で実施されるコンピュータ実行可能な命令を使用する。処理ユニット136およびASIC138はまた、システムバス140を介して、システムメモリ142、大容量記憶インタフェース144、ユーザインタフェース124、および信号入力部118などの他の様々なシステム構成要素にも結合される。処理ユニット136は、本発明の特徴機能を含むビデオ受信器112の機能を実施するように設計されたソフトウェアを実行することができる。

【0029】ASIC138は、ビデオ受信器112のいくつかの機能を実施するために使用される回路を含む。処理ユニット136の動作に必要でありかつASIC138の動作に必要である命令、データ、およびその他のプログラムモジュールは、読み取り専用メモリ(「ROM」)146およびランダムアクセスメモリ(「RAM」)148を含む、大容量記憶装置150および/またはシステムメモリ142に記憶することができる。大容量記憶装置150は大容量記憶インタフェース144に結合され、例えば磁気ハードディスク152であることができる。

【0030】アプリケーションプログラム154、他のプログラムモジュール156、および放送時間および番組のチャンネルを指定する電子番組案内(「EPG」)158を含む、任意の望まれるコンピュータ読み取り可能な命令またはデータは、大容量記憶装置150に記憶することができる。

【0031】大容量記憶装置150を使用してビデオデータ153を記録することができるが、その場合、ビデオ受信器112がデジタルビデオ記録装置の機能を実行する。デジタルビデオデータは、ホームエンタテインメントシステム110によって、信号源120、リモートコンピュータ160、ビデオゲーム168、入力装置126、およびインターネットを含むさまざまなソースから受信することができる。

【0032】ビデオ受信器112がインターネットに関連する実施形態において、ビデオ受信器112は、システムバス140とモデム166の間へのシリアルポートインタフェース164の挿入、無線リンクの使用、またはビデオ受信器112の内部または外部の、WANを介した通信確立のための他の手段を含むさまざまな技法を使用して、リモートコンピュータ160と、広域エリアネットワーク(「WAN」)162を介して通信することができる。シリアルポートインタフェース164は、WANを介した通信用のモデム166を接続するために利用することができるが、シリアルポートインタフェースはまた、ビデオゲーム168などの家庭電化装置および/あるいはキーボード(図示せず)またはジョイスティック(図示せず)などの様々な入力装置をビデオ受信器112に接続するために利用することができる。

【0033】次に信号入力部118を参照すると、プログ

ラム入力ライン122の信号が多重チャンネルを含んでいる場合、信号入力部118に含まれるチューナ170は信号中の選択チャンネルに同調する。多重チューナ170を使用して、ピクチャーイン-ピクチャ、別のチャンネルを見ながらのチャンネル録画、複数チャンネルの同時録画といった、向上された視聴機能を実現することができる。信号復号器172は、ビデオデータをアナログ形式からデジタル形式に、デジタル形式からアナログ形式に変換することができる、あるいはASIC138およびチューナ170が様々な形式を使用する場合に、様々な形式に変換することができる。ビデオ復号器172は圧縮されたビデオ形式(例えばMPEG)からビデオデータを復号することもできる。ビデオ受信器112が多重チューナ170を含む実施形態では、ビデオ受信器112は本明細書で開示した動作を実行するための多重信号復号器172を含むことができる。

【0034】図1および対応する上記の議論は、本発明を実施することのできる適切な環境について一般的な説明を提供するものであるが、言うまでもなく、ここに開示する本発明の特徴は、各種の様々なシステム構成との関連付けで実践できる。

【0035】図2は、1つまたは複数のリモートソースからのテレビ番組やウェブページなどのコンテンツを、1つまたは複数のネットワークを介して1つまたは複数のビデオ受信器に配信することのできる例示的配信システム210を表す。さらに、配信システム210は映像広告をビデオ受信器に配信することが可能である。例えば図2は、信号源120からネットワーク216を経てビデオ受信器112へ至る情報(例えばウェブページ、テレビ番組、および映像広告)の全体的な流れを示す。

【0036】コンテンツがテレビ番組の場合、信号源120は、テレビ放送プロバイダ、衛星テレビプロバイダ、ケーブルテレビプロバイダなどを表す。信号源120はまた、テレビ放送を受信しテレビ放送をビデオ受信器112に転送するサーバコンピュータシステムを表すこともできる。コンテンツがウェブページまたはその他のネットワークサービスである場合、信号源120は、ウェブページの起点サーバ、あるいはおそらくウェブページまたは他のネットワーク資源を受信し、ユーザに転送する中間サーバコンピュータシステムであることができる。信号源120が、テレビ番組およびウェブページ双方の情報センタとして働き、そのような多様なコンテンツをビデオ受信器112に転送するようにすることもできる。

【0037】一般に、信号源120は、オーディオおよび/または映像データ(一般に「ビデオデータ」と呼ばれる)の多数の動画エキスパートグループ(MPEG: 動画・音声データの圧縮方式の一つ)ストリームを生成または転送することができる。このようなビデオデータは、例えばデジタルテレビ番組や映像広告、または他の任意のビデオデータであることができる。このビデオデータは、参照番号1からnで示すこれらのMPEGストリームを介してビ

デオ受信器112に伝送される。これらのMPEGストリーム1からnは、MPEG-1、MPEG-2、およびMPEG-4などの様々な規格および形式を使用することができ、例えば、図1を参照して既に記述したプログラム入力ライン122で受信することができる。

【0038】様々なMPEGストリーム1-nを生成することに加えて、信号源120は、数字1-nで示す1つまたは複数のデータストリームを生成し、ビデオ受信器112に配信することができる。このようなデータストリーム1-nは、ウェブページまたは他のネットワーク資源、あるいはMPEGストリーム1-nを介してビデオ受信器112に配信される放送番組に同期される拡張コンテンツ(次世代テレビジョン拡張フォーラム(ATVEF)など)を含むことができる。MPEGストリーム1-nはデータストリーム1-nとは離して示しているが、データストリーム1-nはMPEGストリームに含めて配信することができる。例えば、MPEG規格は、データをMPEGストリームに含めて移送するために使用することのできるトランスポートパケットを提供する。

【0039】信号源120は、データストリームを使用して、ビデオ受信器に表示される可能性のある映像広告のデータを供給することができる。例えば、このような映像広告データは、映像広告のリストと、特定の日、週、月等に視聴者に表示することのできる映像広告のスケジュールとを含むことができる。このデータはまた、映像広告を表示する際に適切なタイミングを考慮するトリガなどの拡張コンテンツも含むことができる。映像広告データに加えて、信号源120は、データストリーム1-nを使用して、ビデオ受信器112がどのような映像広告をいつ表示するかを決定する際に従うべきターゲットイング命令を配信することができる。

【0040】映像広告データおよびターゲットイングデータは、多様なやり方でビデオ受信器112に配信することができる。映像広告がビデオ受信器に配信される個々のやり方は本発明にとっては重要ではない。1つの実施形態では、信号源120は、一連の映像広告が次々とビデオ受信器112に供給される回転式のやり方で映像広告データを配信することができる。しかし、映像広告をビデオ受信器112に配信する他のやり方を、当業者は本明細書に含まれる教示に照らして認識することができる。

【0041】信号源120と通信するのは拡張コンテンツソース214である。この例示的構成では、拡張コンテンツソース214は、信号源120によって作り出される放送コンテンツと共に配信することのできる拡張プログラムコンテンツを生成することができる。図示する通り、拡張コンテンツソース214は、拡張プログラムコンテンツを、テレビ番組および映像広告を搬送するMPEGストリーム1-nの1つに挿入するように構成される。任意選択で、拡張コンテンツソース214は、拡張プログラムコンテンツを、MPEGストリーム1-nに関連するデータストリーム1-nの1つに挿入することができ、これをビデオ受信器112

に配信することができる。

【0042】拡張コンテンツソース214は、信号源120から離れたものとして示しているが、当業者には言うまでもなく、拡張コンテンツソース214を信号源120に組み込むことができる。このようにして、コンテンツプロバイダはコンテンツ(例えばテレビ番組および/またはウェブページ)を伝送し、拡張プログラムコンテンツ(例えば映像広告、トリガなど)を、ビデオ受信器112に配信可能な1つまたは複数のMPEGストリーム1-nまたはデータストリーム1-nに挿入することができる。さらに、本明細書に含まれる議論は、信号源120が映像広告に関するデータを供給すると明記しているが、当業者には言うまでもなく、拡張コンテンツソース214も、それだけで、または信号源120と組み合わせても、そのようなデータを配信することができる。さらに信号源120および/または拡張コンテンツソース214は、パナー広告および関連する配信スケジュールなどの他の情報をも、上記の映像広告と同じように供給することができる。

【0043】上記の通り、拡張コンテンツモジュール214は、信号源120によって生成される放送番組またはネットワーク資源用の拡張コンテンツを生成することができる。このような拡張コンテンツは、1つまたは複数のお知らせ(コマーシャルなど)と、ゼロまたは複数のトリガと、向上された番組体験のためのコンテンツを規定する1つまたは複数のパッケージを含むことができる。

【0044】当業者には言うまでもなく、拡張コンテンツの各お知らせはそれぞれ、ビデオ受信器112に、向上されたプログラム体験ができるか否か、またこの体験がストリーミングビデオ、静止ウェブページ、広告などを含むか否かを知らせる。このお知らせは、拡張プログラムコンテンツが利用できるMPEGストリーム1-nを規定する。例えば、放送番組は、MPEGストリーム1-nの帯域外部分に、パナー広告および/または映像広告をMPEGストリーム3に利用できるか否かをビデオ受信器112に通知する拡張コンテンツを含むことができる。

【0045】さらに当業者には言うまでもないことであるが、お知らせがビデオ受信器112に配信されると、続いてゼロまたは複数のトリガがいろいろな時にビデオ受信器112に配信されて、拡張プログラムコンテンツの配信が開始され、またはそのような拡張プログラムコンテンツが利用できるか否かが視聴者に通知される。各トリガはそれぞれ、拡張された番組体験の一部として送信するデータの名称と、この拡張プログラムの配信に使用されるトランスポートAプロトコル、トランスポートBプロトコルなどの通信プロトコル、またはそれらの組み合わせを含み、規定する。トリガは、映像広告またはパナー広告などの拡張プログラムコンテンツを自動的に視聴者に配信することができる。

【0046】ゼロまたは複数のトリガは様々な構成を有することができ、ビデオ受信器112に多様な機能を実行

させる。例えば、あるトリガは、映像広告などの拡張プログラムコンテンツの配信を起こし、または始めるスタートトリガの形をとることができる。別のトリガは、映像広告の配信を中止または停止するストップトリガであることができる。さらに他のトリガは(i)映像広告が終了するまでの時間量、(ii)ループ化された一群の広告の中の次に利用できる映像広告が視聴されるまでの時間、(iii)ビデオコンテンツのタイプなど視聴中の映像広告についての情報、(iv)将来視聴する映像広告についての情報、などを規定することができる。

【0047】より詳しくは、このような拡張コンテンツは、映像広告の開始時間および停止時間と、映像広告の長さを規定するコンテンツと、ローカルシステム118が、1つまたは複数のMPEGストリーム1-nおよび/またはデータストリーム1-nで配信することのできる利用可能な映像広告にアクセスする任意所定の時間での、視聴済の映像広告の量および視聴すべき残量を画定する1つまたは複数の識別子と、一連の映像広告の中の後続の映像広告が始まるべき時間と、スポーツ、自動車、衣服、旅行、放送番組等のいずれに映像広告が関連するかという映像広告の個々の広告タイプを画定するビデオコンテンツ識別子とを含むことができる。さらに各映像広告はそれぞれ映像広告の名称、広告主の名前などを含むことができる。

【0048】以上に述べ、以下に展開する通り、本発明の原理は、遠隔側で設定される、映像広告を表示するか否かを決定するための基準を用意する。これを達成するために、拡張コンテンツソース214は、ビデオ受信器112に対して、映像広告を表示するか否かの決定を行うために、どのようにしてローカル状態およびユーザ行動情報を使用するかを指示する命令も含むことができる。これらの命令はスクリプト言語のフォーマットに従うことができ、1つまたは複数の、MPEGストリーム1からnまたはデータストリーム1からnに含むことができる。

【0049】放送番組または他のコンテンツ、また任選択で拡張プログラムコンテンツを、ネットワーク216を介してビデオ受信器112に配信することができる。ネットワーク216は、放送番組および拡張プログラムコンテンツをビデオ受信器112に配信することのできる多様なネットワークの1つを表すことができる。例えば、ネットワーク216は既存のケーブルテレビのインフラ(構造基板)、衛星ネットワーク、放送ネットワーク、標準型電話線、ダイヤルイン接続などを表すことができる。

【0050】以上、本発明を実施するために使用することのできる受信器の例およびシステムの例を図1および図2のそれぞれで説明したが、本発明の動作を以下に図3から5で説明する。

【0051】図3は、表示装置114によって視聴者に提示することのできる例示的表示スクリーンを示す。この表示スクリーンを取り囲んでいるのは、視聴者に表示する

10

20

30

40

50

ことのできる映像広告およびバナー広告の略図であるが、その広告は信号源120によって配信される。図示する通り、表示スクリーン310は、テレビ番組またはウェブページなどのネットワーク資源であることができる主コンテンツウィンドウ312を含む。表示スクリーン310はまた、主コンテンツウィンドウ312が、ナビゲーションと適合したネットワーク資源を表示する場合に、ユーザがネットワーク資源をナビゲートするのを可能にするナビゲーションボタン314をも含む。表示スクリーン310はまた、映像広告またはバナー広告をそこに表示することのできる広告ウィンドウ316を含む。

【0052】広告318a-318nおよび320a-320nの広告ウィンドウ316への配信は、1つまたは複数のMPEGストリーム1-nおよび/またはデータストリーム1-nを介して行うことができる。別法では、またはこれに加えて、セットトップボックスが十分に大きな記憶容量を有する場合、必要に応じて取り出すためにこのようなバナーおよび/または映像広告318a-318nおよび320a-320nをシステムメモリ142内でキャッシュし、かつ/または、大容量記憶装置150(図1)に記憶することができる。このように記憶されたバナーおよび/またはビデオの広告318a-318nおよび320a-320nは、MPEGストリーム1-nおよび/またはデータストリーム1-nを介して最初に受信されたバナーおよび/またはビデオの広告318a-318nおよび320a-320nを含むことができ、あるいは、ローカルシステムの制作中やローカルシステムのイントール中など、当業者に周知のいくつかの他の方法で大容量記憶装置150に記憶されたバナーおよび/またはビデオの広告318a-318nおよび320a-320nであることができる。ある映像広告が、直ぐに表示できない場合、関連したバナー広告を、映像広告の表示の準備ができるまで広告ウィンドウ316に表示することができる。バナー広告と映像広告の切り替え方法は、関連の、本出願の優先権主張の基礎出願である原米国出願と同じ日に出願され、本出願人と同一の所有者が所有する同時係属の米国特許出願(特許文献1参照)で詳しく説明している。これを参照することによりその全体が本明細書に組み込まれる。

【0053】図4は、本発明による、広告をターゲティングするための方法400のフローチャートを示す。この方法は、上記のビデオ受信器112などのビデオ受信器によって実行することができる。

【0054】ビデオ受信器112は、ビデオ受信器112に関連する、状態およびユーザ行動特性をモニターする(アクト401)。例えば、図5を参照すると、ローカル状態およびユーザ行動特性503は、状態情報504、ペーパービューの情報505、加入者契約の情報506、過去の広告表示履歴507、同調履歴508、ならびに他の情報509を含む。この状態およびユーザ行動特性は一般に、映像広告を表示するか否かの決定に関係する情報を含むものである。

【0055】状態情報504は、表示装置112がオンであつ

て図3を参照して上述したスクリーン310を表示することができるか否かを含むことができる。状態情報504はまた、主コンテンツウィンドウ312で視聴中のテレビ番組またはネットワーク資源に対する識別も含む。例えば、広告主は、ユーザが対応するウェブサイトナビゲートする時に映像広告を表示するよう希望することができる。

【0056】ペーパービュー情報505は、ペーパービュー購入の履歴情報を含むであろう。例えば、広告主は、ペーパービュー情報505が、ユーザが最近1年間にペーパービューサービスを全く発注していないことを示す場合は、ペーパービューサービスについての広告を表示しないように選択することができる。また、既にサービスを発注した人に対してはペーパービューサービスの広告をしないようにしてもよい。反対に、ペーパービュー情報505が、ボクシングの選手権試合の範囲を発注する傾向を示す場合は、予定されるボクシングの試合の売り込みをする映像広告が収益を生むかもしれない。

【0057】加入者契約情報506には、例えばユーザがある有料チャネルまたはサービスを加入者契約しているか否かを含む場合がある。広告主がある有料チャネルを提供するものの場合、例えばその広告主は、既にそのサービスを視聴契約している人に対しては映像広告を表示することを望まないであろう。その代わりに、より有望な映像広告をその視聴者に対して選択することができる。

【0058】これまでの過去の広告の表示履歴507は、過去に表示された映像広告と共にその広告が最後に表示された時間に対応する識別子を含むことができる。映像広告を最近見た視聴者にその映像広告を表示することは望ましくないであろう。従って、表示の決定は、映像広告が最後に示されたのがどのくらい最近であるかに基づいて行うことができる。広告表示履歴507はまた、広告が所定の期間に何回表示されたかを記述することができる。従って、表示の決定は、映像広告が、所定の期間に所定の回数の表示が未だなされていない場合に行うことができる。

【0059】同調履歴508は、ユーザの時系列での同調行動情報を含む。この情報から、ビデオ受信器は、時系列ベースで視聴者の興味のあるものを引き出すことができる。従って、朝には子供がマンガや他の子供向けのテレビを見、または子供の目を引くウェブサイトナビゲートするかもしれない。午後にはお手伝いさんが仕事をしながら連続メロドラマを見ているかもしれない。夜には家族の両親がイブニングニュースを見、または大人の目を引くウェブサイトナビゲートするかもしれない。したがって、ビデオ受信器は、朝には子供に焦点を合わせた映像広告を、午後にはお手伝いさんに焦点を合わせた映像広告を、夜には両親に焦点を合わせた映像広告を表示することができる。子供が夜にテレビを見、両親が

10

20

30

40

50

朝にテレビを見るのであれば、ビデオ受信器は子供向けの広告を夜に表示し、大人向けの広告を朝に表示するようになる。

【0060】その他の情報509は、これが、映像広告を表示するか否かの決定に関係する可能性のあるローカル状態およびユーザ行動特性の非網羅的リストであることを強調して示す。

【0061】状態およびユーザの特性をモニター（監視）することにより、ビデオ受信器はその特性を生成し、ローカル（局所）で記憶することができる（アクト402）。アクト402からアクト401へ戻る矢印を付すが、これは、ローカル状態およびユーザ行動特性を常にモニターして、記憶パラメータが、モニターした状態およびユーザ行動特性の変化に従って適切に変化するようにできることを強調するためである。ビデオ受信器112はまた、上記の通り、例えばMPEGストリームおよび/またはデータストリームから、映像広告（アクト403）およびターゲティング命令（アクト404）を受信する。

【0062】次いでビデオ受信器112は受信した命令（アクト405）を処理して、表示すべき映像広告を選択する（アクト406）。次いで選択された映像広告が表示される（アクト407）。例えば図5を参照すると、決定モジュール501が命令502を受信し、命令502を処理して、ローカル状態およびユーザ行動特性503を使用して、表示する映像広告を選択する。したがって本発明の原理によって、リモートエンティティが、ローカルで記憶された特性に基づいて表示を条件付けすることによって、広告を表示するか否かについての意思決定プロセスを制御することができるようにしている。したがって、リモートエンティティは、個々のユーザに関する情報に基づいて表示の条件を制御することができる。さらに、このような制御は、こうした情報をリモートエンティティに開示する必要なく進めることができ、これによって、ビデオ受信器112に関連のユーザのプライバシーを守ることができる。

【0063】選択し表示するビデオセグメントは映像広告として記述しているが、本発明の原理は、広告であるなしに関わらず、任意のビデオセグメントに適用することができる。さらに、上記では、受信命令の使用による映像広告の選択および表示を説明している。しかしバナー広告の選択および表示も、上記の原理を使用して実現することができる。

【0064】本発明は、その精神または本質的特徴から逸脱することなく、他の具体的な形で実施することができる。記述した実施形態は、あらゆる点で単なる例示に過ぎず限定をしないものと考えられる。したがって、本発明の範囲は、前述の説明によってではなく本請求項によって表される。この請求項の意味および等価物の範囲に入る全ての変更は、請求項の範囲に入ると考えられるものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の原理を実施するために使用することのできるビデオ受信器の例を示すブロック図である。

【図2】本発明が動作することのできる適切な配信システムを示すブロック図である。

【図3】本発明によるビデオ受信器に関連する表示画面を示す図である。

【図4】本発明による、遠隔で発行されたターゲティング命令と、ローカル状態および行動情報とを使用する、映像広告をターゲティングする方法を示すフローチャートである。

【図5】図4の方法を実施する際に使用する、データフローおよび対応するデータ構造を示す図である。

【符号の説明】

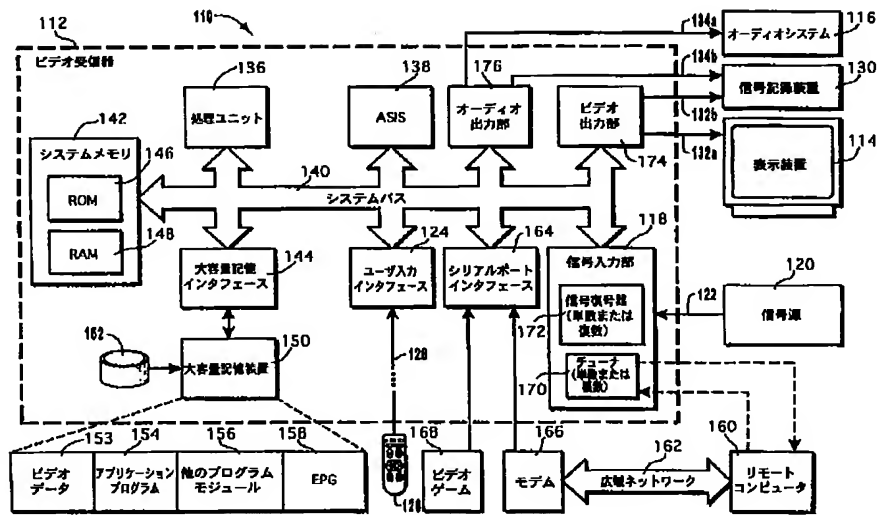
110 ホームエンタテインメントシステム
112 ビデオ受信器
114 表示装置
116 オーディオシステム
118 信号入力部
120 信号源
122 プログラム入力ライン
124 ユーザ入力インタフェース
126 入力装置
128 入力リンク
130 信号記録装置
132a、132b ビデオ画像リンク
134a、134b オーディオリンク
136 処理ユニット
138 特定用途向け集積回路（「ASIC」）
140 システムバス
142 システムメモリ
144 大容量記憶インタフェース
146 読み取り専用メモリ（「ROM」）
148 ランダムアクセスメモリ（「RAM」）
150 大容量記憶装置
152 磁気ハードディスク
153 ビデオデータ
154 アプリケーションプログラム
156 他のプログラムモジュール
158 電子番組案内（「EPG」）
160 リモートコンピュータ
162 広域エリアネットワーク（「WAN」）
164 シリアルポートインタフェース
166 モデム
168 ビデオゲーム
170 多重チューナ
172 多重信号復号器
210 配信システム
214 拡張コンテンツソース
216 ネットワーク

310 表示スクリーン
 312 主コンテンツウィンドウ
 314 ナビゲーションボタン
 316 広告ウィンドウ
 318a-318n、320a-320n 広告
 400 広告をターゲティングするための方法
 501 決定モジュール
 502 命令

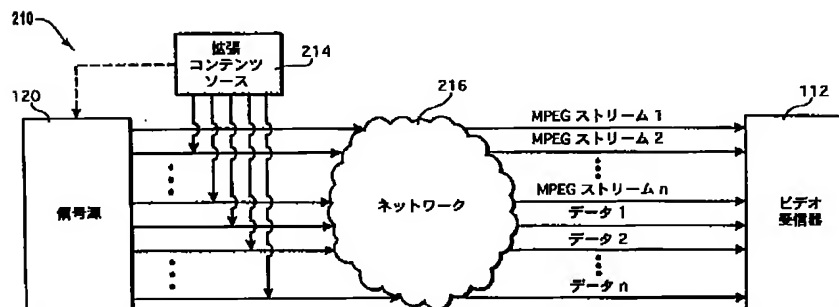
* 503 ローカル状態およびユーザ行動特性
 504 状態の情報
 505 ペーパービューの情報
 506 加入者契約の情報
 507 過去の広告の表示履歴
 508 同調履歴
 509 他の情報

*

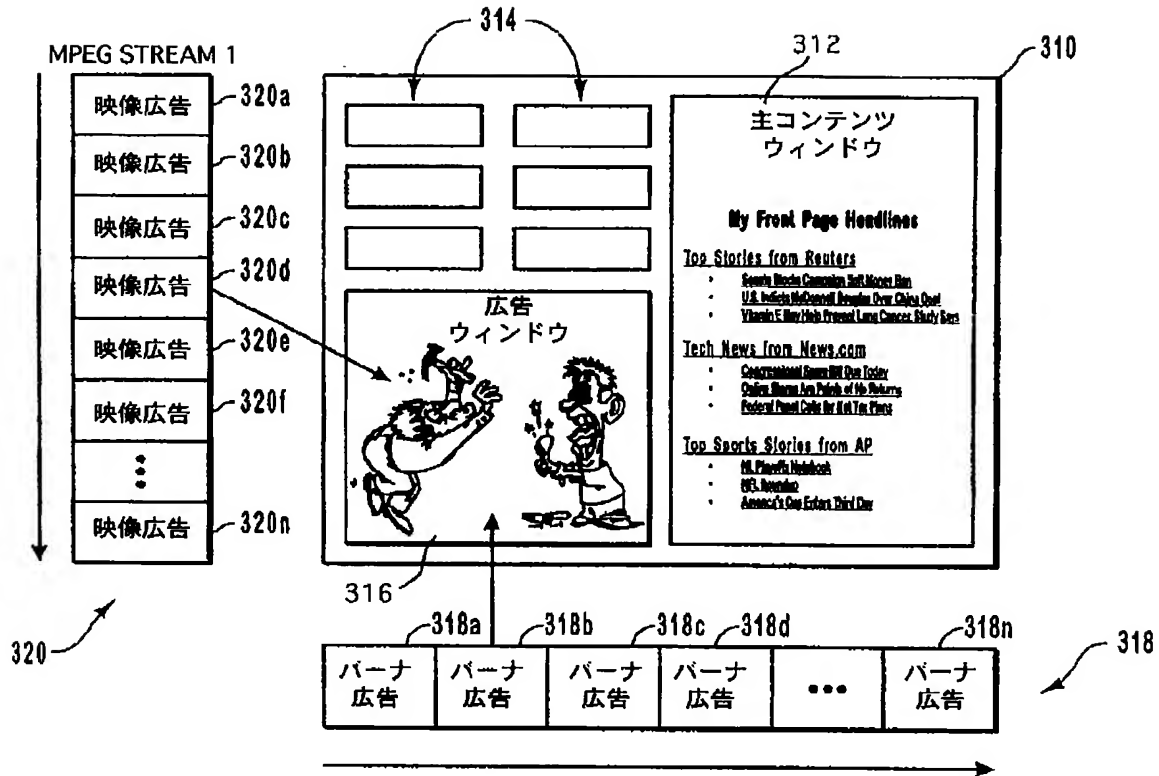
【図 1】



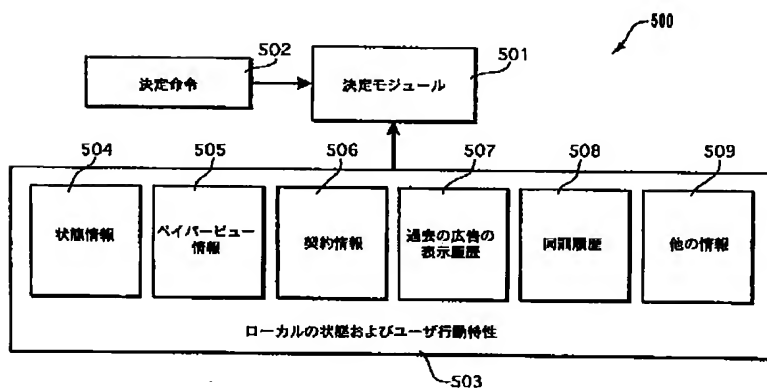
【図 2】



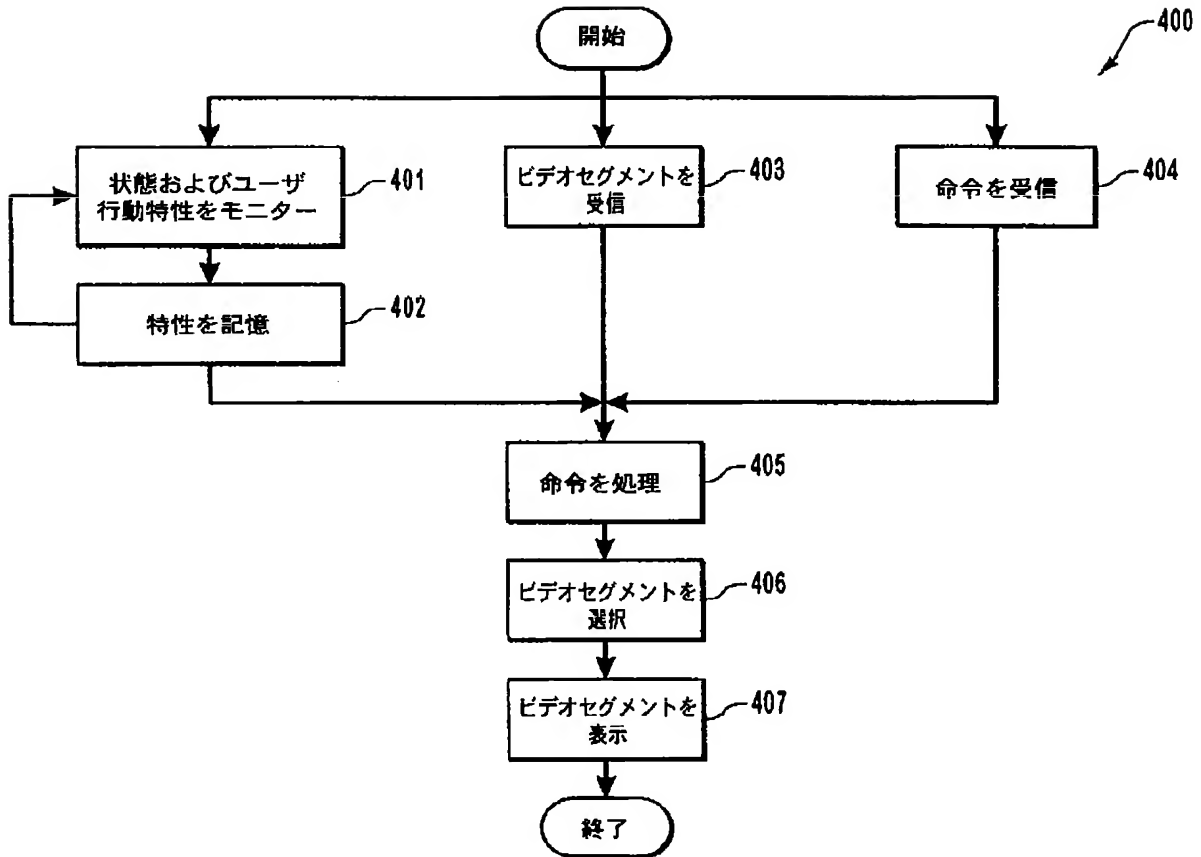
【図3】



【図5】



【図 4】



フロントページの続き

(72)発明者 ピーター ティー. バレット
アメリカ合衆国 94117 カリフォルニア
州 サンフランシスコ エッジウッド ア
ベニュー 211

Fターム(参考) 5C064 BA07 BB05 BC10 BC16 BC20
BC23 BD01 BD08

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成17年11月17日(2005.11.17)

【公開番号】特開2003-224843(P2003-224843A)

【公開日】平成15年8月8日(2003.8.8)

【出願番号】特願2002-306331(P2002-306331)

【国際特許分類第7版】

H 0 4 N 7/173

G 0 6 F 17/60

G 0 9 F 19/00

【F I】

H 0 4 N 7/173 6 4 0 Z

G 0 6 F 17/60 3 2 6

G 0 9 F 19/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成17年9月29日(2005.9.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 表示装置に結合され、複数のビデオセグメントを含むストリームを受信するように構成されたビデオ受信器において、前記ビデオ受信器に対するアクセス可能なローカルの情報に基づき、かつ遠隔で発行された命令に基づいて前記複数のビデオセグメントをターゲットイングする前記ビデオ受信器の方法であって、該方法は、

前記ビデオ受信器に関連する状態およびユーザ行動特性をモニターするステップと、

ローカルで前記特性を記憶するステップと、

前記ストリームから複数のビデオセグメントを受信するステップと、

前記ストリームから実行可能な命令を受信するステップであって、該実行可能な命令がプロセッサによって処理される時に、前記ローカルで記憶された前記特性に基づいて前記複数のビデオセグメントの中から1つのビデオセグメントを前記ビデオ受信器に選択させるように、前記実行可能な命令が構成されたステップと、

前記実行可能な命令を処理して、前記ビデオ受信器に前記ビデオセグメントを選択させるステップと、

選択された前記ビデオセグメントを前記表示装置に表示させるステップと

を含むことを特徴とする方法。

【請求項2】 前記実行可能な命令を処理して、前記ビデオ受信器に前記ビデオセグメントを選択させるステップが、前記実行可能な命令を処理して、前記ビデオ受信器に映像広告を選択させるステップを含み、

前記ビデオセグメントを前記表示装置に表示させるステップが、映像広告を前記表示装置に表示させるステップを含むことを特徴とする、請求項1に記載の方法。

【請求項3】 前記ビデオセグメントを前記表示装置に表示させるステップが、前記ビデオセグメントを前記表示装置のウィンドウ内に表示させるステップを含むことを特徴とする、請求項1に記載の方法。

【請求項4】 前記ウィンドウ外にマテリアル(資料)を表示するステップをさらに含むことを特徴とする、請求項3に記載の方法。

【請求項5】 前記ウィンドウ外にマテリアルを表示するステップが、前記ウィンド

ウ外にテレビ番組を表示するステップを含むことを特徴とする、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】 前記ウィンドウ外にマテリアルを表示するステップが、前記ウィンドウ外にネットワーク資源を表示するステップを含むことを特徴とする、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 7】 前記ウィンドウ外にマテリアルを表示するステップが、前記ウィンドウ外にウェブコンテンツを表示するステップを含むことを特徴とする、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 8】 前記表示装置に前記ビデオセグメントが表示されていない時、前記表示装置に静止画を表示させるステップをさらに含むことを特徴とする、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】 前記ストリームから前記静止画を受信するステップをさらに含むことを特徴とする、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】 前記表示装置に前記ビデオセグメントが表示されていない時、前記表示装置の前記ウィンドウ内に静止画を表示させるステップが、前記表示装置に前記ビデオセグメントが表示されていない時、前記表示装置の前記ウィンドウ内にバナー広告を表示させるステップを含むことを特徴とする、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 11】 前記実行可能な命令が第 1 の実行可能な命令であり、前記方法が、前記ビデオストリームから第 2 の実行可能な命令を受信するステップであって、該第 2 の実行可能な命令がプロセッサによって処理される時、前記ビデオ受信器に、前記ローカルで記憶された特性に基づいて複数の静止画の中から前記静止画を選択させるように前記第 2 の実行可能な命令が構成されるステップと、

前記第 2 の実行可能な命令を処理して、前記ビデオ受信器に前記静止画を選択させるステップと

をさらに含むことを特徴とする、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 12】 前記複数のビデオセグメントを受信されるときそれらをキャッシュするステップをさらに含むことを特徴とする、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 13】 前記ビデオ受信器が、特定のビデオセグメントを表示しないと決定する場合に、該特定のビデオセグメントに関連したキャッシュメモリを解放するステップをさらに備えることを特徴とする、請求項 12 に記載の方法。

【請求項 14】 前記ビデオセグメントを前記表示装置に表示させるステップが、前記ビデオ受信器から前記ビデオセグメントを受信されるにつれて該ビデオセグメントを表示させるステップであって、前記実行可能な命令が、前記ビデオセグメントの表示の開始を、前記ビデオセグメントが前記ビデオ受信器から受信される時間に合わせるトリガを含むステップとを含むことを特徴とする、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 15】 前記ビデオストリームから複数のビデオセグメントを受信するステップが、

複数のビデオストリームから前記複数のビデオセグメントを受信するステップと、

前記実行可能な命令に基づいて前記複数のビデオストリームの間で表示を切り替えるステップと

を含むことを特徴とする、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 16】 前記ビデオストリームが一方向のビデオストリームであることを特徴とする、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 17】 前記ローカルで記憶された特性がチャネル加入者契約の情報を含むことを特徴とする、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 18】 前記ローカルで記憶された特性が、同調されたチャネルの履歴情報を含むことを特徴とする、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 19】 前記ローカルで記憶された情報がペーパービュー購入の履歴情報を含むことを特徴とする、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 20】 前記ペーパービュー購入の履歴情報が最後のペーパービュー購入の識別を含むことを特徴とする、請求項 19 に記載の方法。

【請求項 2 1】 前記ローカルで記憶された情報が、表示された広告の履歴情報を含むことを特徴とする、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 2 2】 前記表示された広告の履歴情報が、過去に表示された広告の少なくともいくつかを識別する識別子を含むことを特徴とする、請求項 2 1 に記載の方法。

【請求項 2 3】 前記表示された広告の履歴情報が、対応する広告が最後に表示された時間を含むことを特徴とする、請求項 2 2 に記載の方法。

【請求項 2 4】 前記ビデオ受信器が、前記特性を該ビデオ受信器の外に漏らすことなくローカルで記憶することを特徴とする、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 2 5】 表示装置に結合されたビデオ受信器で使用するコンピュータプログラムであって、該ビデオ受信器が複数のビデオセグメントを含むビデオストリームを受信するように構成され、該コンピュータプログラムが、

該ビデオ受信器に対するアクセス可能なローカルの情報に基づき、かつ遠隔で発行された命令に基づいて複数のビデオセグメントをターゲティングする該ビデオ受信器の方法を実施し、

前記ビデオ受信器に関連する状態およびユーザ行動特性をモニターすること、

前記特性がローカルで記憶されるようにすること、

前記ビデオストリームからの複数のビデオセグメントの受信を検出すること、

前記ビデオストリームから受信された命令を処理し、前記実行可能な命令がプロセッサによって処理される時に、前記ローカルに記憶された特性に基づいて前記複数のビデオセグメントから 1 つのビデオセグメントを前記ビデオ受信器に選択させるように前記命令が構成されること、および、

前記ビデオセグメントを前記表示装置に表示させることを実行するためのコンピュータ実行可能な命令を含み、

前記コンピュータ実行可能な命令がコンピュータ読み取り可能な媒体に記憶されていることを含むことを特徴とする、コンピュータプログラム。

【請求項 2 6】 前記コンピュータ読み取り可能な媒体が、1 つまたは複数の物理記憶媒体であることを特徴とする、請求項 2 5 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 2 7】 前記コンピュータ読み取り可能な媒体が、

前記ローカルで記憶された特性に基づいて前記複数のビデオセグメントから 1 つのビデオセグメントを選択することを実行するためのコンピュータ実行可能な命令をさらに記憶していることを特徴とする、請求項 2 5 に記載のコンピュータプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

【特許文献 1】米国特許出願第 10 / 000, 150 号明細書（代理人受領証番号 14531.96）"Advertising Using a Combination of Video and Banner Advertisements"（映像広告およびバナー広告の組み合わせを使用する広告）